

不動産事業での「共育(ともいく)」

当社が手がける京阪東ローズタウンは、平成4年に街びらきし、今では3,000世帯を超える方々にお住まいいただいています。

当社は住民の方同士の交流サポートに積極的に取り組んできました。JR松井山手駅前に設けたコミュニティ施設「タウンプラザ」を拠点に会員組織の「たうんくらぶ」を運営し、サークル活動、夏祭りやクリスマスイベントの開催など住民の方による活動をバックアップすることを通じて、住民の方同士の絆づくりを支えてきました。

そして、街びらきから16年目を迎えた平成20年4月、当社は新たな取り組み「共育(ともいく)」をスタートさせました。「共育」という言葉には、「共に育み、共に育つ」という意味が託されています。「地域の大人と子どもが共に学び、共に育つ」、そのような街を目指したこの取り組みの一環として、子育て支援施設「つくるところ[京阪東ローズタウン共育ステーション]」を開設しました。



▲子育て支援施設「共育ステーション」



▲京阪東ローズタウン

当施設はさまざまなプログラムを通じて、子どもたちの「自主性」や「創造力」を育み、仲間や親との協同作業を通して「協調性」や「コミュニケーション能力」を育みます。さらには、地域の皆さまにプログラムに参加していただき、地域や親が子どもと共に学び成長する環境づくりに取り組んでいます。子どもたちが自ら包丁を使い厳選された食材を調理しながら、生きることの基本「食」について学ぶ「キッズ・キッチン」、子育て支援者養成講座など、地域の子育てを応援するプログラムが豊富です。また、地域の大学・企業との取り組みにより、新たなコミュニケーションの輪が広がっています。

砂場遊びの「プレイフル・サンドアート」は、同志社女子大学の教授によるワークショップ。そして、同大学の現代社会学部・現代こども学科では、「共育」を題材にした授業が行われました。

そして、FMラジオ局のα-STATIONとの取り組みも積極的に行っています。同局の人気講座「ゴスペルスクール」を当施設にて開講し、地域の方が一体となって、心豊かなハーモニーを奏でています。

当社はこれからも、地域の人と人とのつながりをサポートする活動をさらに広げていきます。

ひらかたパーク

ひらかたパークは都心から近いロケーションに位置し、プール、スケートをはじめとする四季折々のイベントを年間通じて展開し、老若男女問わず多数のお客さまに来園いただいています。特に近年、関西の遊園地の閉園が相次ぐ中、97年の歴史を持つ遊園地としてお子さま連れのファミリーが2世代、3世代で来園され、家族の思い出を作っていただける空間と時間を提供しています。

そのほか、ここ数年、中学校、障がい者団体、自治体などに対して、職場体験学習の場を提供する取り組みを行っています。具体的には、当園のスタッフとともに実際の業務に就いていただき、華やかな表舞台を演出するために必要なさまざまな業務を実体験していただきます。その体験をそれぞれの立場で今後の活動に活かしていただける有意義な場を提供しています。平成20年度は合計53名の方が来園されました。



▲ひらかたパーク